

不祥事根絶への取り組み

ひたちなか市立勝田第二中学校

教職員による不祥事は、県民の学校教育への信頼を著しく低下させる原因となっており、なんとしても根絶しなければなりません。そこで本校では、不祥事根絶に向けたコンプライアンスの遵守と厳正な校務執行のため、教職員の意識改革や職場風土改革をすべく、下記のように取り組んでいます。

記

- 1 不祥事根絶をテーマとし、コンプライアンス委員会が主導する、職員によるボトムアップ型の校内研修を定期的実施しています。不祥事は、体罰、飲酒運転、セクハラ、パワハラ、公金の使い込み、データ漏洩、スピード違反等の交通違反、盗撮、盗難、わいせつ行為等々多岐にわたります。これらの各事案について、職員が協力して防止マニュアルを作成し、校内研修でグループ討議やロールプレイング等の手法を取り入れながら具体的な防止策を互いに提案するなど取り組んでいます。これら校内研修については、きちんと年間計画に位置付け、定期的実践しています。
- 2 不祥事ごとにチェックリストを作成し、職員が定期的に点検をしています。不祥事の原因は何か。また、自分の行動や意識に問題は無いかな等を明確に把握する必要があります。これらを職員が自分自身でチェックし、自己啓発をすることが重要であります。そのためチェックリストを作成し、定期的点検をしています。
- 3 不祥事関連の通知文や「ONE IBARAKI」、新聞記事等を利用し、様々な事例や処分内容を職員全体で共有しています。職員ひとりひとりが、不祥事を「自分ごと」として考え、具体的な防止策を職員会議や研修会で考え、話し合っています。
- 4 管理職による職員との個人面談を重視し、悩み等の解決のための支援を行っています。職員のストレスや個人的な悩みが不祥事の遠因にならないよう、管理職が人事評価の面談や日頃の面談を通して、解決法を助言したり相談にのったりするなど、きめ細かに職員を支援しています。
- 5 校内環境や職員の様子等に、いつもと変わったことがあった場合は、すぐに管理職に報告・連絡・相談・確認する体制を整えます。悩みを一人で抱え込まず、いつでも気軽に相談できる風通しの良い職場風土をつくっています。

勝田第二中学校では「た（体罰）・い（飲酒運転）・せ（セクハラ・パワハラ）・つ（公金の使い込み）・で（データ漏洩）・す（スピード違反）・と（盗撮・盗難）・は（わいせつ行為）」を合言葉に、今後も全職員が一丸となって不祥事根絶に取り組めます。

また、自分の学校から不祥事を起こさないよう、職員一人一人が更に自覚と努力をして参ります。

令和6年8月23日